

5月の果実の見通し

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
すいか類		6,239	102	6,327	254	94	234	0.0	0.0	熊本産中心の入荷で全体の8割を占める。熊本は出荷開始が遅れたものの、前年を上回るペースでの出荷となっている。4月下旬から入荷量が増加し、5月は潤沢な入荷となる。千葉は5月中旬から出荷開始となり、入荷量は前年を上回る。全体の入荷量は年並み、価格は前年をかなり下回る見込み。
メロン (アンデス)		755	98	852	446	95	437	0.0	0.0	熊本、茨城産中心の入荷で全体の9割を占める。熊本は着果、果実肥大とも良好で、4月下旬～5月上旬にかけて出荷ピークとなる。茨城は他品目への移行もあり、栽培面積が減少している。生育は前進気味で推移しており、5月初めから出荷が始まり下旬にピークとなる。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をやや下回る見込み。
おうとう		168	110	224	2,587	95	2,252	47	28.0	山形産中心の入荷となる。生育は概ね平年並みで推移しており、ハウス加温栽培は5月連休明けから母の日にかけてが出荷ピークとなる見込みで、ギフト向けで需要増が期待される。長野は生産者の減少や燃料費の高騰から、生産量は前年を2割程度下回る。全体の入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。
びわ		106	120	196	1,691	90	1,366	-	0.0	長崎、千葉産中心の入荷で全体の9割を占める。長崎は特に天候被害等もなく、生育は順調に推移している。ハウス物は5月上旬でほぼ終了となり、露地物は例年どおり中旬から始まる。千葉産のハウスものの出荷ピークは5月中旬頃となる。全体の入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年をかなり下回るものの平年より高くなる見込み。
マンゴー		79	140	127	3,823	88	2,866	-	0.0	宮崎産中心の入荷で全体の9割を占める。生育は順調で、4月の中旬時点では前年比の4倍近い入荷量となっている。出荷のピークは5月中旬～下旬頃となる。6月も安定した出荷が続き、7月中旬でほぼ終了となる。全体の入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。